

令和7年度第1回学校運営協議会 議事録

校 名	大阪府立久米田高等学校
校長名	藤原 和子

開催日時	令和7年6月28日(土)10:00～12:00
開催場所	久米田高等学校 校長室
出席者(委員)	堂之本会長、福井委員、阪本委員、田中委員、山形委員、前田委員
出席者(学校)	藤原校長、木下教頭、小幡事務長、宮本首席、田戸首席、山口教諭、山本講師
傍聴者	なし
協議資料	・令和7年度第1回学校運営協議会レジュメ ・令和7年度 大阪府立久米田高等学校 学校運営協議会委員名簿 ・大阪府立久米田高等学校 学校運営協議会 実施要項 ・令和7年度久米田高等学校マネージメントシート ・令和6年度学校経営計画及び学校評価 ・令和7年度学校経営計画及び学校評価 ・2025年度進路の手引き ・久米田高校パンフレット
備考	

議題等(次第順)	
・校長挨拶 ・協議委員紹介及び事務局自己紹介 ・資料確認 ・令和6年度の学校評価報告 ・令和7年度の学校経営計画 ・その他(令和8年度使用教科書(予定)の確認など)	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
《令和6年度 学校経営報告》 ・進学実績が落ちているのではないかという指摘について、学校の分析としては安全志向から受ける学校を限定したり、進学先を早く決めたいと考える生徒が近年増加の傾向にあると考えている。 ・クラブ加入率について、学校の目標に数%達していない。加入率についても安全志向が影響しているのではないかという意見や、クラブ活動も大切であるが、進路実現のための勉強時間の確保も必要ではないかという意見があった。	
《令和7年度 学校経営計画》 ・自転車通学の事故について、天気が悪い日は転倒してしまい、ケガをする生徒もいるが、それ以外の日は少ない。学校としてはヘルメットの着用を推奨しているが、着用している生徒は少ない。地域によっては登下校においてヘルメットの着用を義務化しているところもあるようだが、いたずら対策や貸出などの生徒指導面での懸念も多い。学校が事故の頻発する場所を把握したり、警察など公的機関と連携することも大事という意見があった。 ・入試の特色枠について、久米田高校では「これからの久米田を考える会」で、この特色枠について議論している。また、教員研修で久米田高校について考える機会を持った。勉強・クラブ・行事などすべてを頑張ることが久米田高校の特色であるため、どれか1つに絞ることは難しいという結論であった。 ・進路指導においては、久米田高校はスタサポなどを利用し、その結果を見て分析等についての研修会を開く予定である。また、夢設計手帳の使用率を高めることが進路実現にもつながり、1年ごとの手帳を3年で1冊のものにすれば見通しを持って進路指導ができるのではないかという意見があった。また、進路ガイダンスは各学年で定期的に行っており、夏休みにはオープンキャンパスに行く課題もある。自分が調べた大学について発表する場面を設定することで、大学について知る機会を設けている。卒業生の講演等もある。	
《令和7年度久米田高校マネジメントシート》 ・進路指導部:進路実績の数値を出す。学年と協力して進路の意識付けをする。 ・広報委員会:学校説明会で久米田高校の魅力を発信している。学校パンフレットに共生推進教室の紹介や学校見学会の案内をリーフレットにしてはさんでいる。夏の学校見学会には750名が参加予定である。 ・教務部:年間を通しての学校運営に関する業務をしている。また、新システムの移行にあたり、校内マニュアルを作成し、システムの修正等も担当している。 ・ICT委員会:1人1台端末の管理・運用。端末が古くなってきており、故障が増えている。また、校内端末も今年度に更新するなど切り替えの対象も多い。 ・総務部:PTA活動において、正面玄関前の花壇整備、ライムの木の植樹などの環境整備活動を行った。秋にも環境整備活動を行う予定である。	
《その他》 ・学校特色枠の設置について、今後早急に学校運営協議会委員に意見の確認をとり、それに伴うスクール・ポリシーの変更があれば、併せて確認をとる。	

次回の会議日程	
日時	令和7年10月18日10:00～(予定)
会場	大阪府立久米田高等学校